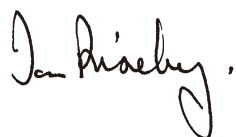
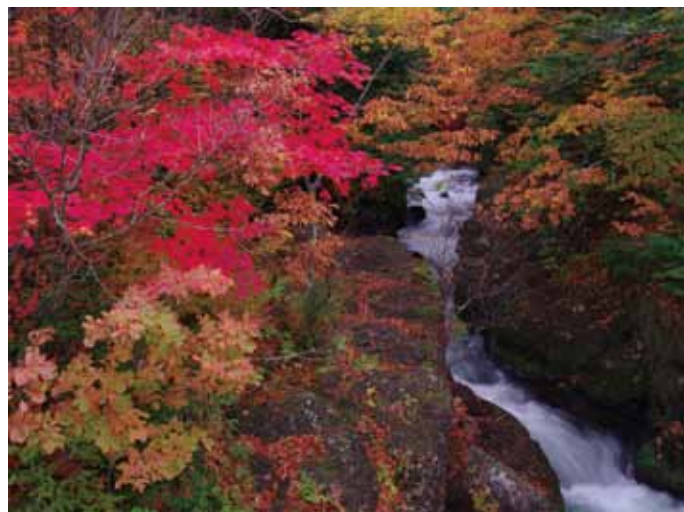


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏

『日光龍頭の滝』 写真提供：河合 隆 会員

10月は経済と地域社会の発展・米山月間です。

2017～2018年度(第60期 小原年度)

10月第3例会プログラム

10月19日(第2914回) VOL. 14

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 米山記念奨学生卓話
- にこにこBOX
- 出席報告
- クラブフォーラム

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 季 文鑫 さん
- S.A.A
- 出席委員会

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

卓話「新土浦市立図書館について」 土浦市立図書館長 入沢 弘子 様

本日のお話のポイントは3点。まず、「なぜ？今？ここに？」新図書館。新図書館開館の経緯をご説明いたします。次に、「どんなところなの？」新図書館。新図書館の役割と特徴をご説明いたします。

最後に、「何をを目指すの？」新図書館。新図書館をどのように運営していきたいか、をお話させていただきます。

「アルカス土浦」
2017年11月27日 グランドオープン！



新図書館の入居する、アルカス土浦です。来月11月27日にグランドオープンします。JR土浦駅西口の神立寄り、旧JRの駐車場のあった場所に建築しました。

「アルカス」とは、アート&カルチャー・スペースの略で、今年のはじめに市民へ公募して決まった名称です。

「アルカス土浦」は複合ビルで、1階は土浦市初の本格的な美術館・市民ギャラリーと、りそな銀行さんと交番、2階は学習塾が入居。図書館は2階から4階部分に入り、ビル全体の敷地面積の約7割を占めています。約70台収容できる駐車場も併設しています。

「なぜ？今、ここに？」新図書館

土浦市は、JR土浦駅東西地区を中心とした地域を、多くの人々が集い交流する県南地域の拠点機能の維持と向上を目指し、「まちなかを歩いて暮らせるコンパクトシティ」の形成を進めてきました。土浦駅前を「まちなか」とするために都市基盤の整備を推進しています。これまで実施してきた市役所の移転や駅前ロータリーや道路の整備などがその事業です。

1996年、第五次総合計画で新図書館整備事業が決まり、検討を開始しました。駅前に移転が決定したのは2006年。2009年に開館させる計画を推進していましたが、2008年9月のリーマン・ショックの影響を受けて事業中断が決定しました。

その後計画を見直して、推進を再開した矢先に2011年3月に東日本大震災が発生し、2度目の事業中断を余儀なくされました。翌年2012年、市役所の駅前移転が決定し、図書館移転事業も再開しました。今回は順調に推移して、いよいよ今年11月開館に漕ぎつけそうです。まさに、三度目の正直です。

新図書館は「どんなところなの？」

それは「まちづくり」を担う図書館です。市民がまちなかに回帰し、居住し、活気あふれるまちの再生に向けて、計画された事業です。まず、第一の使命は「駅前の活性化」です。土浦駅西口からペDESTリアンデッキで直結、徒歩3分という便利な場所に立地しています。利用者が駅近になることから、これまでと異なる層の方々の利用が見込まれます。

駅を利用する通勤通学の方、ビジネスマンや高校生、大学生の利用が大幅に増加することが見込まれます。あらゆる世代の方の「生涯学習の場」であり、「知の情報」の拠点としての役割を担っています。

そして、これまでと異なるのは、土浦市初の本格的な美術館・ギャラリーを併設していることから「芸術文化活動」の拠点ともなり、新規の利用者も見込まれています。

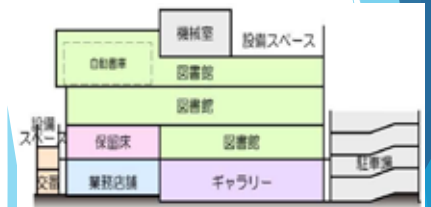


そして、県内最大の図書館でもあります。

施設面積は5,120㎡となり、県内の公立図書館の単独館の面積としては、結城市、筑西市を抜いて県内1位になります。閲覧席も600席と県内1位です。

蔵書規模は、最大蔵書収容能力が56万冊でトップ。開館時は、約35万冊からスタートします。(県内5位→蔵書数1位水戸48万冊、2位日立記念44万冊、3位守谷41万冊、4位神栖中央41万冊)

2階～4階部分が図書館、
1階は市民ギャラリー、
銀行と学習塾も入居する複合ビル。



何をを目指すの？新図書館

ひとつは、「生涯学習・情報の拠点」であること。これは、図書館の本来の機能である知の収集・集積場所であることと同時に、その情報を活用して発信していくことです。

立地場所や社会環境の変化に伴い、利用者の皆さんが図書館に求めるものも変化していきます。このニーズ変化に対応し、利用者みなさんに満足いただけるよう、本来の機能の充実を図りたいと考えています。

美術ギャラリーを併設する図書館というのも、全国にあまりありません。

この好条件を活かし、「本」と「アート」をコンセプトにする企画を美術ギャラリーと図書館で連携して実施してまいります。

そんな美術館のオープニング企画の第1弾は、茨城県近代美術館の所蔵作品を展示する「移動美術館」を開催します。11月27日の開館日から来年1月14日まで開催します。この展示会では、県の近代美術館で最も高価である(約6億円と言われている)クロード・モネの作品「ポール・ドモワの洞窟」の他、茨城県ゆかりの洋画家の作品約80点を展示します。併せて市が所蔵する美術品も展示も行います。

第2弾は、来年1月19日から28日まで第70回土浦市美術展覧会を開催します。

さらに、図書館のオープニング企画は、12月9日に日本のベストセラーのほとんどの装丁を手がける人気ブックデザイナー・鈴木成一氏のトークショーを開催します。NHKプロフェッショナル仕事の流儀でも紹介されましたが、小説を原稿から1枚の表紙に表現する、その思考方法やテクニックについてお聞きしたいと思います。人が思わず手にとってしまう本、商品の

デザインの流儀についてお話いただきます。入場無料で出入り自由です。図書館2階のカフェコーナーで実施します。土曜日の午後、ぜひ皆様もお越しくださいませ。

ふたつめは、「まちや人を元気にする交流拠点」であることです。図書館・美術ギャラリーを「場」としたコミュニティ作りを目指します。

図書館を利用する子育て世代の方、高校生を中心とした学生、アクティブシニア世代などが、「本」や「アート」を中心に集える場のご提供をします。

また、シティプロモーションの新しい材料であることも目指しています。

市民に「こんな図書館が出来て、ちょっとうれしい」「住んでよかった」と思っただけの図書館。市外から訪れた方には「こんな図書館のある町なら住んでみたい」と思っただけの図書館。

他の図書館にはないサービスの提供や魅力を感じていただくことで、都市間競争にも勝ち残ることができる、図書館。

そんな図書館を目指しています。

このため、まず土浦市立図書館に足を運んでいただくきっかけ作りをします。

開館日11月27日から来年1月末まで約2ヶ月間「駅

前ぶらり・ライブラリ」とタイトルをつけた「土浦の土日」イベントを実施します。毎週末、図書館や美術ギャラリー内、アルカス土浦の屋上ガーデンやステップガーデンでコンサートや移動販売を行うと同時に、図書館・美術ギャラリーから市内を回遊していただく仕掛けとして、市内の飲食店や名所をめぐるスタンプラリーを実施します。このイベントのモチーフは、モネの作品が土浦に初めて展示されることを記念して「フランス」です。市内をこのポスターや、このポスターデザインを踏襲したのぼり旗や横断幕が市内を飾ります。

市内を回遊するしくみを作り、新たな土浦市の魅力を発見していただき、リピーターを増やすことで、「住み続けたい土浦」「住んでみたい土浦」を目指します。

本来の図書館の使命を果たすことはもちろんですが、これからの図書館は単なる「本の館」では生き残って行けません。「まちをHAPPYにする図書館」のあり方、土浦ならではの図書館のあり方を、市民や事業者のみなさんと造っていきたいと思います。

これから“あたらしい図書館のカタチ”をみなさんと造っていきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

花火大会後の清掃

社会奉仕委員会 岩瀬 市朗 委員長

土浦RCは社会奉仕作業として地域の環境整備と美化に力を入れて居りますが、今年もその一環として、J:COMが実施した地域清掃活動に参加しました。土浦全国花火競技大会の翌日、10月8日(日)に花火大会会場の清掃を実施しました。

会員13名が参加、総勢500名と共にゴミ回収に良い汗を流してきました。

早朝からのご参加、ご苦労様でした。



第32回 土浦市健康まつり

日時： 2017年10月15日(日) 午前10:00～午後3:00

場所： 土浦市保健センター・霞ヶ浦医療センター

参加者： 小原、金澤、河合、高橋（宏）、中島（祥）、三輪谷（6名）

今年は、土浦RCから医師3名に加え、薬剤師、介護士による医療・健康相談に協力しました。

